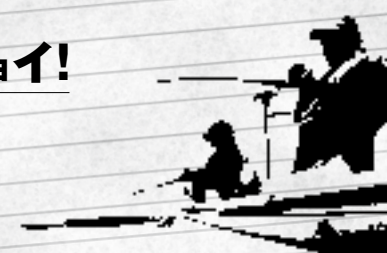


旬の沖釣りをエンジョイ!



今がチャンス! これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

釣り納めが済んだらすぐ初釣り。なんて人も結構いるのでは? 令和4年も気を抜かず無理をせずマイペースで楽しみましょう。



▲早朝に狙うクロムツは30センチ前後がアベレージ

主役級の多彩な魚がお出迎え 冬も賑やか南房のリリース釣り

◎南房洲ノ崎港発↓洲ノ崎沖 本誌APC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

一度の釣行で色々な魚を釣ってみたい! そんな五目釣りファンに紹介したい南房の人気メニューが、フラッシュヤー五目と季節の魚のリリース釣り。

知得! Tips and Tricks

ムツとクロムツ

ムツとクロムツは以前は同種と考えられていたが別の魚。私たちが釣ってクロムツと呼んでいるのは、ほとんどがムツ。クロムツに比べると若干体色に黄金色を帯び明るい色をしている。クロムツは黒色が濃く、ムツに比べると大型になり、正式に見分けるには側線のウロコの数で判断できるが、両種ともおいしいのでこたわる必要はないと思っている。

▲写真は当日釣れた35センチのムツ

12月11日に出かけた南房洲ノ崎港の佐衛美丸では、早朝にフラッシュヤー五目でクロムツ(ムツ)主体に狙ったのち、オキアミエサで多彩な魚種が釣れるオキアミ五目のリリース釣りで出船している。クロムツの実釣は、早朝の1時間30分ほどの短時間勝負。手返しよく極力タイムロスを抑え、減らす工夫が釣果をのばすことにつながる。釣り座周りを整理整頓、手前マツリなど仕掛けのトラブルが発生したら、すみやかに新しい仕掛けに交換して次の投入に備えるのが賢明だろう。

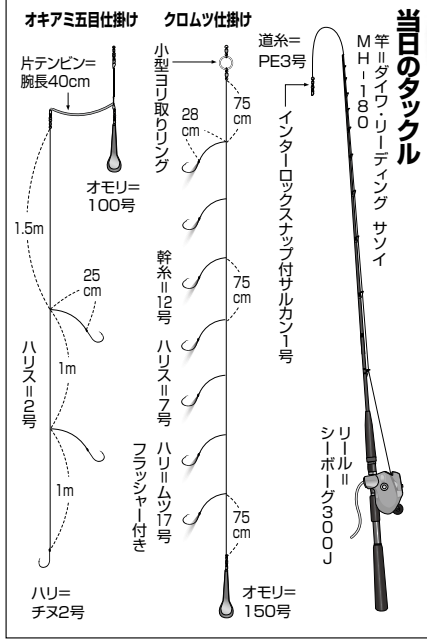
8名が乗船。「いつてらっしゃい。頑張つてね」と、おかみさんの明るい見送りの言葉を背に港を離れた。15分ほどポイントの洲ノ崎沖に到着。「合図を出したら同時に仕掛けを投入してください」と早川船長がアナウンスすると、皆さんオモリを手に持ち準備万端。「はい、どうぞ。水深10メートル。底中心に誘いを入れてください」のかけ声と同時に7つの仕掛けが一斉に投入さ

れた。ちなみにクロムツの釣果は、実釣時間が短いだけに目によるムラがある。しかし潮具合に恵まれた良日はトップで20尾を超える釣果も上がっており、この日がよい潮であることを祈るばかりだ。**複雑な引きの正体は** 左トモ2番の吉田さんが巻き上げを開始すると、「これってクロムツの引きですかねえー?」と私に尋ねてきた。クロムツの引きは断続的に

力強く明確に出るのだが、なんと複雑な引き込みを見せている。それもそのはず、上がってきたのは28センチのクロムツとサバのダブル。このサバが猛威を振るいはじめて釣りの邪魔をする。中には仕掛けの落下途中でサバにつかまり4尾、5尾と抜き上げる人も。

Tackle Guide

クロムツの仕掛けはフラッシュヤーサビキでオモリは150号。サビキがある船宿仕掛けがおすすだ。オキアミ五目はテンピン仕掛け2~3本ハリ、オモリ100号。当日はカイトリ用やアマダイ用、ハナダイ用などの仕掛けで釣る人が多かった。



「またサバにやられちゃったかなあー?」と竿を満月のように曲げて巻き上げ始めたのは左トモの黒崎さん。上3本のハリにはサバが付いていたものの、下2本には30センチのクロムツが付いており笑顔で写真に収まってくれた。続けて右トモの菊地さんもダブルでクロムツを釣り上げる。しかし1.5ノットの速潮とサバの邪魔でなかなか釣果がのびない。「クロムツの反応はあるけどなあー」と船長も困惑気味だ。気がつくとも東の空が徐々に明るくなり、残り時間もわずかなとなったところで私も竿を出す。着底したら糸フケを取り、軽く誘い上げ、止めて待つ。

そしてハンドルをひと巻きして再び誘い上げる。時折ジリジリとスローで竿を持ち上げるなど緩急を付けつつ、海底から3メートルまでをリサーチする。

で、テンピン仕掛けに替えてオモリは100号にしてください」と船長がアナウンス。10分ほど移動した水深80メートル付近で第2ラウンドが開始された。

しまった、ドラッグを締め過ぎていた……と後悔しても後の祭り。その後はキダイを中心に投入ごとに何かしらの魚がヒットしてきた。30センチ前後のキダイが掛かると引き味も楽しんで、11時に沖揚がり。サバと速潮に阻まれクロムツの数はのびなかったものの、後半のオキアミ五目は好調。皆さんのクローラーの中は様ざまな魚で華やかであった。



▲キダイのトリプル

五目超えは当たり前

「オキアミ五目に行きますのしばらくして、」

◎船宿information

南房洲ノ崎 **佐衛美丸**

☎0470-20-8003 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=クロムツ&オキアミ五目乗合 一人1万1000円(エサ、水付き)

▶備考=予約乗合、4時半集合。午後アオリイカへも出船

早川 忠信船長

●すずき よしかず/ステーキ肉、タラバガニ、ウニ、アワビ、イセエビとぜいたくをさせていただきました。ありがとう、ふるさと納税の返礼品。